

学芸会について

学芸会委員長 島中 圭一

11月の17日(金)18日(土)は学芸会があります。17日は児童鑑賞日、18日は保護者鑑賞日です。

今月に入ってからどの学年も、本番に向けた練習をほぼ毎日行っています。一生懸命動きを付けながら台詞を練習する子の姿や、劇中で歌う曲の歌詞を覚えてのびのびと歌う子の姿が見られ、学校全体が学芸会モードになっています。学芸会は、ステージに上がっている瞬間だけが重要ではなく、舞台の袖で待つ態度や、高学年では転換場面を創ったり照明操作を行ったりするなど、裏方の仕事が非常に大切です。全ての仕事を自分たちで協力してはじめて良い劇発表になります。演技や歌を上手にこなすことだけでなく、学年で一致団結して一つのステージを創り上げることの素晴らしさを子供たちに指導していきたいと考えています。

今年度も児童数増加に伴って、出演学年保護者優先席の設置をしますが、当日は混雑が予想されます。お互いに譲り合いながら、全員が楽しめる学芸会を創っていけるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

算数少人数について

算数少人数指導担当 鈴木 明美

少人数指導のねらいは、少人数の集団構成による学習指導を行うことによって、児童の理解や習熟の程度、興味・関心などに応じたきめ細かな指導の充実を図り、確かな学力を育成することです。

本校では、3～6年生の学年を対象にレディネステストなどで児童の実態を把握し、ゆっくり・のびのび・ぐんぐんなど学年を3つのコース(2人の担任・少人数担当)や4つのコース(3人の担任・少人数担当)で学習指導を行っています。

新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。算数では、まず自分の考えをもち、友達と交流する中で互いのよいところを見付け、考えをさらに深めていく学習になるように工夫しています。

また、児童一人一人の興味・関心に応じた教材・教具の工夫なども行い、学力向上に努めています。

さらに学期始や学期終には、東京ベーシック・ドリルを活用し、児童の基礎学力の定着状況を把握し、指導に生かすようにしています。

※家庭学習用東京都ベーシック・ドリルは、HPにあります。ご活用ください。

日光移動教室

6年1組担任 村松 静香

6年2組担任 黒川 洋

6年生は9月26日(火)から29日(金)にかけて箱根移動教室に行ってきました。5年生の夏季学園とは違い、「学習」であることをしっかりと意識して、出発前には見学先について調べ、学ぶことを明確にしました。

移動教室ならではの活動は、3日目に行った課題別活動です。今年は4つのコースから1つを選択して見学・体験を行いました。どのコースも、事前に調べて知った内容を実際に見たり聞いたりしたことで理解を深めることができました。

この4日間で、箱根の歴史や自然に多くふれることができました。また、寝食を共にすることで友達と助け合うことの大切さや、思いやる気持ちの大切さを改めて感じることができました。

6年生の学年目標は「一致団結」です。最高学年としてこの言葉を意識して生活してきました。移動教室という大きな行事を終えた今、さらに成長した姿で東町小学校を引っ張っていける6年生を目指して頑張っていきます。

104周年の開校記念日を迎えて

副校長 宮島 淳一

東町小学校は、今年で開校104周年を迎えます。本校の「東町」の由来は、善福寺の門前町の東側にあたるということで名付けられました。時は大正2年(1913年)の4月1日。善福寺の東側の地に「東町尋常小学校」の校舎建築の工事が始まりました。7か月後の9月24日には木造2階建ての25教室の校舎が完成して、いよいよ11月14日に開校式が行われました。初代校長 西村新太郎先生は、子供たちに「何事にも一生懸命に」と、お話をされました。以来、東町小の校訓は『一生懸命』です。この104年間、子供たちはもちろん、保護者の皆様や地域の方々も、正にこの校訓通り、『一生懸命』でした。

平成24年(2012年)4月に国際学級が開設され、当時の国際学級の1年生たちも今年は6年生となります。国際学級から羽ばたく6年生たちを皮切りに、東町小学校の伝統を受け継ぎ、国際社会と様々な国の人々のために『一生懸命』行動できる子供たちを育てていきます。